

平成24年度予算の重点施策の決算状況

奈良しみんだより(平成24年5月号)に掲載しました「平成24年度 予算の重点施策」にかかる決算状況についてお知らせします。

事項	予算説明	決算説明	上段:最終予算額 下段:当初予算額(万円)	決算額(万円) (25年度への繰越額)
◎少子化対策				
保育所の待機児童解消	民間保育所の新設や増改築に対する補助を行います。公立保育所の保育士を増員し、受け入れできる子どもの数を増やします。	待機児童解消のため平成24年度に増築工事を行った民間保育所2園に対して補助を行いました。さらに、公募による民間保育所3園の誘致を行いました。そのうち2園は工事の遅れにより翌年度へ繰越しました。また、公立保育所においても臨時保育士を増員し待機児童の解消に努めました。	48,750 23,060	18,725 (25,322万円繰越)
病児保育補助事業	子どもが病気の時に一時的な保育・看護をする施設への補助を行います。	平成24年度に旧市街地域(東部地域)にある市立奈良病院敷地内に開設された「病児保育いちご保育園」の運営に対し補助を行いました。	831 780	831
バンビーホーム開所時間の繰り上げ	市内42か所のバンビーホームで夏期・冬期・春期の長期休暇期間中に開所時間を30分繰り上げ、午前8時開所として試行実施します。	市内42か所のバンビーホームで、夏期、冬期、春期の長期休暇期間中に開所時間を30分繰り上げ、午前8時開所として実施しました。	800 800	800
子ども発達センターの運営	発達障害や言語・情緒・行動に発達の課題を抱える就学前の幼児と保護者を対象に相談支援を行います。	相談の場では、特別支援教育士、心理判定員、保健師、保育士が療育相談(電話、来所、巡回等)を行い、必要に応じ専門相談(作業療法士、言語聴覚士)を行いました。相談延べ件数606件。療育の場では、指定管理者による障害児通所支援(児童発達支援)を行いました。利用者延べ件数 2,327人	2,550 2,550	2,235
◎環 境				
家庭用ソーラーパネル設置補助	家庭用ソーラーパネルの設置者に対して、1件あたり5万円を限度に補助を行います。	家庭用ソーラーパネルの設置に対して、400件の補助を行いました。(1件あたり補助金額5万円)	2,010 2,010	2,009
家庭用雨水タンク設置補助	家庭用雨水タンクの設置に対して、1基あたり3万円を限度に補助を行います。	家庭用雨水タンク設置に対し160件の補助を行いました。(補助件数160件・平均補助金額14,706円)	240 150	236
ごみ減量等市民啓発事業	ごみ減量講座や講習会の開催とごみ減量アイデアコンテストを実施します。	8月と10月にごみ減量と環境を考える講演会を開催し、市内24公民館にてごみ減量キャンペーンを開催しました。また、広くごみ減量アイデアを募集しましたが、有用で実効性のある応募が無く、コンテストの開催に至りませんでしたので、小中学生へアイデア募集等新たな手法を検討しています。	200 200	104

平成24年度予算の重点施策の決算状況

奈良しみんだより(平成24年5月号)に掲載しました「平成24年度 予算の重点施策」にかかる決算状況についてお知らせします。

事項	予算説明	決算説明	上段:最終予算額 下段:当初予算額(万円)	決算額(万円) (25年度への繰越額)
◎観光				
外国人観光客誘致と受入体制の充実	国際旅行見本市への出展、中国観光プロモーション等で奈良の魅力をアピールします。また、通訳ガイドの育成やパンフレットを作成し、外国人観光客の受入体制を整えます。	国際旅行見本市への出展、台湾への観光プロモーション、中国(西安・成都)旅行者ファムトリップを実施しました。また、通訳ガイド研修や外国人観光接遇研修を行ったり、パンフレットを作成したりするなど、外国人観光客の受入体制を整えました。	3,656 3,315	2,913
世界遺産東大寺転害門に隣接する町屋活用事業	東大寺転害門に隣接する町屋を「きたまちエリア」の拠点となる観光案内所として改修します。	土地開発公社から用地を買い戻すとともに、きたまち転害門観光案内所の改修工事を行いました。年度内に改修工事が竣工しませんでしたので、25年度へ2,000万円繰り越しました。	6,930 6,800	4,814 (2,000万円繰越)
おもてなし民間トイレ活用事業	ならまちにある店舗等のトイレを観光客等が利用できるよう民間事業者の協力を得て、観光客等の利便性を図ります。	平成24年8月より、9か所で事業を開始し、9月に2か所、平成25年2月に4か所の合計15か所の協力を得ました。また、きたまちまちなかど博物館パンフレットにおもてなしトイレ協力事業者を掲載し、観光客の利便を図りました。	102 102	76
月ヶ瀬温泉リニューアル	地域住民の憩いや癒しの拠点、月ヶ瀬地区の観光拠点となるよう、老朽化した施設をリニューアルするための設計を行います。	月ヶ瀬温泉運営企画基本計画策定及び温泉改修設計を行いました。	1,000 1,000	901
◎教育				
小学校30人学級の拡大	少人数による学級運営できめ細かな対応を行います。平成24年度は新たに小学校5年生で30人程度学級編制を実施します。	新たに小学校5年生で30人程度学級編制を実施し、そのために必要な教員の配置や、不足する備品の補充を行いました。	6,730 6,730	6,438
ならの子ども学力向上プロジェクト	市立小中学校の学力や学習状況を調査・分析し、学力の向上を図るとともに教育施策の成果の検証と課題の改善を図ります。	小学4年生(全2,923人)と中学1年生(全2,825人)を対象に学力・学習状況調査を実施しました。また、施策検証部会や研究部会にて、教育施策の成果の検証と課題の改善を図りました。	800 800	782
中学校給食室の整備	市立中学校全校での給食実施に向け、平成24年度はモデル校2校(富雄南中・都跡中)で給食室を建設します。	富雄南中学校及び都跡中学校の給食室建設にあたり、地質調査、給食室の建設及び厨房機器の購入等を実施しました。	21,500 25,500	19,437
学校園トイレ環境改善	小中学校・幼稚園のトイレを清潔でさわやかに使用できるよう年次計画で改修します。	小学校4校(伏見、登美ヶ丘、富雄南、帯解)、中学校4校(都南、富雄、二名、三笠)、幼稚園1園(西大寺北)のトイレ改修工事を行いました。	10,000 10,000	9,554

平成24年度予算の重点施策の決算状況

奈良しみんだより(平成24年5月号)に掲載しました「平成24年度 予算の重点施策」にかかる決算状況についてお知らせします。

事項	予算説明	決算説明	上段:最終予算額 下段:当初予算額(万円)	決算額(万円) (25年度への繰越額)
◎保健福祉				
救急医療情報キットの配布	70歳以上の一人暮らし、重症難病者、障がい者、要支援・要介護者等の災害時要援護者に対し、緊急連絡先やかかりつけ医等の救急情報を保管する「救急医療情報キット」の配布を行います。	従来の災害時要援護者名簿調整に加え、平成24年度から名簿登録者に対して当該事業を行っています。(配布件数:約20,000件)	510 510	240
休日夜間応急診療所建設	老朽化が著しく狭隘な現在の診療所を移転改築し、一次救急医療体制を強化します。	実施設計・許認可完了後、入札を行い、業者決定、契約締結。着工が平成25年度となるため、1,950万円を繰り越しました。	2,050 2,050	0 (1,950万円繰越)
(仮)福祉カフェの開設	障がい者の社会参加と自立支援の取り組みとして、市庁舎内に福祉カフェを開設します。	障がい者の社会参加と自立支援を推進する取り組みの一環として、市庁舎中央棟1階に「福祉カフェ Cafe鹿都」を平成24年12月に開設しました。	400 400	397
◎生活環境				
デジタル同報系防災行政無線整備	災害の防止・軽減を図るため、市民や観光客に防災情報や避難情報などを迅速、的確に一斉伝達できるデジタル同報系防災行政無線の整備を行います。	デジタル同報系防災行政無線整備工事を発注しましたが、設置場所等精査・調整に時間を要したため、25年度へ4,830万円繰り越しました。	8,100 8,100	2,969 (4,830万円繰越)
防災用備蓄倉庫の設置	災害時の初動体制を強化するため、備蓄物資を迅速・円滑に配布できるよう小学校区単位に防災用備蓄倉庫を設置し、分散備蓄の適正化を図ります。	24年度に予定していた21か所の分散備蓄倉庫の設置が完了し、奈良市全体で40か所の分散備蓄と8か所の拠点備蓄体制が整いました。	3,700 3,700	2,531
◎都市基盤				
バリアフリー基本構想策定	公共交通機関・建築物・公共施設のバリアフリー化を推進するため、現況調査や市民ニーズの把握を行い、全体構想及び重点整備候補地区の選定を行います。	奈良市バリアフリー策定協議会を立ち上げ、基本構想策定のための体制づくりを行いました(協議会委員25名)。年度内に重点整備候補地区の選定ができませんでしたので、25年度へ業務委託料を810万円繰り越しました。	900 900	7 (810万円繰越)
西大寺駅北地区整備	近鉄大和西大寺駅北口の駅前広場と自転車駐車場整備のための設計を行います。	近鉄大和西大寺駅北口駅前広場の詳細設計を発注しました。設計完成工期が平成25年度にかかるため6,400万円繰り越しました。	6,512 8,330	0 (6,400万円繰越)

平成24年度予算の重点施策の決算状況

奈良しみんだより(平成24年5月号)に掲載しました「平成24年度 予算の重点施策」にかかる決算状況についてお知らせします。

事 項	予 算 説 明	決 算 説 明	上段:最終予算額 下段:当初予算額(万円)	決算額(万円) (25年度への繰越額)
◎経 済				
プレミアム付き商品券発行助成	市内での消費拡大と商店街等の活性化を図るため、奈良市商店街振興会が行うプレミアム付き商品券の発行に助成を行います。	奈良市商店街振興会が発行したプレミアム商品券の販売相当額の1割を助成しました。	2,000 2,000	1,994
起業家支援事業	若者を中心に新たな雇用の創出を図るため、経営相談・情報提供などの経営支援、創業場所の提供やネットワーク形成などの交流支援といった新規創業の支援を行います。	学生等と起業家との交流を図るビジネスカフェやインターンシップ、経営相談を行いました。	1,350 1,350	1,350
ビジネスプランコンテスト	奈良で新たな起業を考えている人を発掘するため、起業プランを募集・表彰し、起業支援につなげます。	10名のファイナリスト達が、起業プランのブラッシュアップを行い、そのうち8名が最終報告会において企画したツアーを実際に回ってみる等のデモンストレーションを行い、プランがビジネスとして成立するかどうか検証しました。	300 300	300
買物弱者対策	郊外型店舗の進出や世帯の高齢化などにより、買い物が困難となっている「買物弱者」の実態・原因を把握し、その解決を図ります。	5,000人(5,000世帯)にアンケートを配布し、3,101人からご回答を頂きました。集計・分析を行った結果、現在実施されている買い物支援サービスを周知・活用してもらうことが有効な手段であることがわかりました。	100 100	78
ふれあい交流ファーム体験事業	農作業の体験を通じ、都市部の住民と農家等の交流を図り、農と食への関心を高めます。	奈良市阪原町の農園整備などを地元営農組合に委託し、農業体験を通じて市民のふれあいを深める場として「奈良市ふれあい交流ファーム」を平成24年10月に開設しました。	120 120	108
◎基本構想の推進				
動画による広報	市の施策や観光・イベント情報等をホームページで動画配信し、奈良の魅力や市政情報を広く伝えます。	平成24年9月より市公式ホームページ内に「Channel Nara奈良市動画チャンネル」を開設し、市政情報や奈良の魅力を動画で発信しています。(動画コンテンツ数:48本)	130 130	113
「未来奈良市」政策コンテスト	高校生・大学生のグループを対象に奈良市が今後取り組むべき政策について、若者のアイデアを求める政策提言コンテストを行います。	キックオフイベントをはじめ各種イベントを開催し、10チーム45名の学生が参加、熱心な取組が見られ斬新な提案がありました。また、なら100年会館で開催した決勝大会には約200名の来場があり、若者のみならず市民の方々に行政に関心を持ってもらう機会となりました。	429 270	429
職場風土一新プロジェクト	不祥事などの現状を踏まえ、職員の職場改善・改革意識を喚起させ市民に信頼される市役所をめざします。	市役所の改善・改革に対する職員の意欲を活かせる職場へ一新し、市民にとってよりよい市役所を実現するため、「職場風土一新プロジェクト～市民にとってよりよい市役所を実現するための職員提案募集～」を実施しました。	165 250	50